

総合戦略区分	人材の育成・確保	チームリーダー	政策推進課長 鳥谷健二
(プロジェクトチーム)	(チャレンジ創生プロジェクトチーム)	関係課	政策推進課、地域振興課、うんなん暮らし推進課、広報公聴課、環境政策課、健康づくり政策課、商工振興課、キャリア教育政策課

1. 「人材の育成・確保」の基本方針と指標(目標値及び実績値)

総合戦略に定めた基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ● 持続可能なまち(※)の実現に向け、「子ども×若者×大人×企業チャレンジ」による社会課題の解決(ソーシャルチャレンジ)を一層進めます。 ※安心して暮らし続けられる地域となること。 ● 人口減少や技術の進展等の社会変化に対応し、まちの持続可能性を高める人材の育成・確保を進めます。 ● 「技術の進展に応じた教育の革新」、「新時代に対応した高等学校改革」に向けて、オープンイノベーション(※)により大胆かつスピード感をもって、未来に役立つ教育環境の創出に取り組みます。 ※異業種、異分野が持つ知識や新技術などを積極的に取り込むこと。 ● 民間活力と連携・協働し、「チャレンジを支える資金調達」「まちに必要な人材の獲得」「チャレンジャーがつながる場づくり」「意志ある人材や投資を呼び込むための情報発信」の4つの機能の充実・強化を目指します。 ● SDGs(※)の考え方や視点を取り入れ、地域内外の様々な企業、NPO、個人等との連携・共創を通じて、ソーシャルチャレンジの更なる深化を目指します。 ※国連が定める持続可能な開発目標 							
	成果指標 (KPI)	単位	区分	R2年度 H27年度	R3年度 H28年度	R4年度 H29年度	R5年度 H30年度	R6年度 R1年度
A	[幸福度] 安心して暮らし続けられるまちと 感じる市民の割合	%	目標	73.0	73.0	74.0	74.0	75.0
	実績		74.9	74.5	71.2			
B	[環境] チャレンジしやすいまちと 感じる市民の割合	%	目標	42.0	44.0	46.0	48.0	50.0
	実績		43.8	44.9	42.0			
C	[人材] スペシャルチャレンジ制度への 申請件数	件	目標	40	42	44	46	48
	実績		27	36	18			
	【測定企画】 政策推進課にて実数把握		目標				—	—
			実績				14	37

2. R4年度事務事業の総括・振り返り

プロジェクト名	取り組んだ事務事業の総括
① 子どもチャレンジ	<p>○雲南コミュニティハイスクールコンソーシアムを基軸に高校生世代の魅力ある教育環境づくりに注力。 └雲南探究アワード(探究学習の成果発表会)の開催など、雲南式探究プログラムの進化(学校教育)。 └デジタル人材育成クラブの創設をはじめ地域や民間との協働による放課後クラブ創出への着手。 └スペシャレOB/OGを含むサポート体制の強化によるスペシャルチャレンジJr.プログラムの充実(社会教育)。 ○ユースワーカー派遣をはじめ不登校対策プロジェクトとの連動による教育支援センター機能の充実。 ○教職員研修(師範授業・プランニング講座等)の充実による情報教育等の指導力・体制の強化。</p>
② 若者チャレンジ	<p>○雲南コミュニティキャンパス(延べ42人の大学生が参加、うち本市出身6人)や幸雲南塾卒業生を中心としたコミュニティづくりのほか、市内事業者の学び合いをサポートする事業創出ラボSHIFT、スペシャルチャレンジ制度により、若手人材の育成・確保に取り組んだ。 ○スペシャルチャレンジ・ホープでは、3件の新規事業を支援したが、申請案件増に向けては、各プログラムのコミュニティ拡大による参加者同士の学び合いを推進していく必要がある。</p>
③ 大人チャレンジ	<p>○地域経営カレッジに取り組み、2地区から計18名の参加があった。日登地区では、女性を中心とした移住者と地域とのつながりづくり、波多地区では、出身者等を含めた若者世代の仲間づくりに取り組み、多世代の地域活動への参画につながった。 ○地域の担い手育成事業補助金を創設した。9地区から申請があり、地域自主組織での主体的な担い手育成の取り組みの創出につながった。</p>
④ 企業チャレンジ	<p>○8件の実証事業に取り組み、地域と企業の連携・協働が進んだ。新たに3社と地域連携協定を締結したほか、複数の企業と次年度以降の協定締結に向けた協議を進めた。 ○全ての地域自主組織を訪問し、地域と企業を繋ぐデータを整理した結果を元に、企業に解決すべき課題を明確にして、実証事業を行っている。 ○地域活性化企業人によって、民間企業の知見やノウハウを活用しながら、幅広い分野の企業へアプローチをして、地域課題に取り組む事例が増加している。</p>

3. 今後の主な課題と方向性

プロジェクト名	今後の主な課題(R4～6年度)・方向性(R6年度取組方針)
① 子どもチャレンジ	<p>【課題】〔高校〕市内高校への進学者数(定員充足率)の低下や様々な実践が人材還流にまでは至らない現状。〔小中〕学校への行きづらさや困難さを抱える児童生徒の増加。</p> <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶中学生(保護者)のニーズも踏まえた各校の特色化、生徒受入環境の構築、将来的な暮らしを含むキャリアデザインを描ける教育活動の展開など、中高接続(入口戦略)や高大接続(出口戦略)の強化。 ▶不登校への未然防止・初期対応の充実やすべての子どもたちに寄り添うキャリア教育の推進。
② 若者チャレンジ	<p>【課題】県内大学との連携強化による大学生人材の還流促進及び市内で雇用を創出する産業づくり。</p> <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶大学生の人材還流に向けた出口戦略の検討と仕組みづくり。 ▶既存事業者のイノベーション支援及びテーマ型の学び合いコミュニティづくり(ヘルスケア、農林業、デジタル等)を通じた産業クラスター化の推進。 ▶起業型地域おこし協力隊制度を活用した若手社会起業家の誘致・育成。
③ 大人チャレンジ	<p>【課題】地域自主組織の事務局職員の担い手不足及び役職員の負担感の増、意欲の低下。</p> <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶地域経営カレッジ、担い手育成事業補助金による次世代の地域活動参加のきっかけづくり。 ▶地域自主組織職員の確保策の検討。 ▶地域間での事例共有や学び合いによる高め合い、地域の事業や組織の見直しの推進。
④ 企業チャレンジ	<p>【課題】地域課題に対する企業のマッチング及び社会実装に向けた事業の収益化・資金確保。</p> <p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶重点領域として、デジタル実装、脱炭素社会の実現に向けた官民連携プロジェクトの組成を進める。 ▶企業チャレンジの自立・自走(社会実装)に向けた支援体制の強化。

4. 分野の取組方針と成果指標

プロジェクト名	総合戦略(R2～R6年度)に定めた取組方針								
	目的(対象・意図)								
PJ① 子どもチャレンジ	[取組方針] 新しい時代に対応した「教育モデル」を構築し、“スペシャルチャレンジ”(※)を起こす気概のある18歳を育む。 ※my(個人の内面からこみ上げてくる)、social(社会性を帯びる)、action(主体的な行動を伴い学び成長する)の観点を有するチャレンジ。								
	対 象	中学生・高校生	意 図	チャレンジを実践する					
		市内高校		日本一スペシャルチャレンジが生まれる学校となる					
		教育関係者		自らが変革する気概に溢れチャレンジを実践する(子どもが真に求める教育環境の構築に貢献する)					
	成果指標(KPI)		単位	区分	R2年度 H27年度	R3年度 H28年度	R4年度 H29年度	R5年度 H30年度	R6年度 R1年度
	A	チャレンジしやすいまちと感じる高校生(3年生)の割合	%	目標	70.0	72.5	75.0	77.5	80.0
		実績		75.3	89.6	88.9			
	【測定企画】 市内高校生への意識調査で把握		実績					66.7	
B	将来も雲南市のまちづくりに関わりたいと思う高校生(3年生)の割合	%	目標	64.0	68.0	72.0	76.0	80.0	
	実績		75.3	79.7	72.5				
	【測定企画】 市内高校生への意識調査で把握		実績					61.2	
プロジェクト名	総合戦略(R2～R6年度)に定めた取組方針								
	目的(対象・意図)								
PJ② 若者チャレンジ	[取組方針] 志ある大学生や若者、市内事業者のイノベーション(※1)を創発し、地域に必要な新事業(※2)を創出する。 ※1 新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造すること ※2 既存事業の革新も含む								
	対 象	成長・成果達成意欲のある大学生	意 図	学生起業家として市内で実践する					
		市内外の志ある若者、市内事業者		学生起業家として地域課題解決を実践する					
				地域に必要な新事業を創出する					
	成果指標(KPI)		単位	区分	R2年度 H27年度	R3年度 H28年度	R4年度 H29年度	R5年度 H30年度	R6年度 R1年度
	A	UCC参加学生のうち市内で地域課題解決を実践する大学生の割合	%	目標	25	30	35	40	40
		実績		11	28	27			
	【測定企画】 政策推進課にて実数把握		実績				20	20	
B	地域(社会)課題解決に資する新事業創出数	件	目標	5	5	5	5	5	
	実績		5	4	4				
	【測定企画】 政策推進課にて実数把握		目標	2	2	2	2	2	
			実績	3	4	4	3	5	

PJ③ 大人チャレンジ	[取組方針] 地域を担う多様な人材を育成・確保する仕組みを構築するとともに、地域の持続可能性を高める多世代・多分野の“ソーシャルチャレンジ”を創出する。									
	対象	地域自主組織	意図	多様な地域づくりの担い手と連携・協働し、地域の持続可能性を高める人材の育成・確保と多分野にわたる課題解決のチャレンジを促進する						
	成果指標(KPI)			単位	区分	R2年度 H27年度	R3年度 H28年度	R4年度 H29年度	R5年度 H30年度	R6年度 R1年度
	A	多世代・多分野の連携により実施された地域の課題解決に向けた取組数		件	目標	3以上	3以上	3以上	3以上	3以上
	【測定企画】 地域振興課にて実数把握			実績	3	2	1			
				目標						
				実績					3	

プロジェクト名	総合戦略(R2～R6年度)に定めた取組方針								
	目的(対象・意図)								
PJ④ 企業チャレンジ	[取組方針] 地域と市内外の企業による連携協働を進め、社会課題を解決する新事業を創出する。								
	対象	地域自主組織、市民	意図	企業と連携・協働して地域課題解決に取り組む					
		市内外の企業		社会課題を解決する新事業を開発する					
	成果指標(KPI)			単位	区分	R2年度 H27年度	R3年度 H28年度	R4年度 H29年度	R5年度 H30年度
A	連携協定を締結した企業数		件	目標	3	3	3	3	3
	【測定企画】 政策推進課にて実数把握			実績	2	3	3		
				目標					5
B	企業と連携・協働した地域自主組織数		地区	目標	3	3	3	3	3
	【測定企画】 政策推進課にて実数把握			実績	5	8	7		
				目標					
				実績					6
C	社会実装件数(実証事業を経て、新たに地域にサービス提供された事業数)		件	目標	1	2	3	4	5
	【測定企画】 政策推進課にて実数把握			実績	2	-	-		
				目標					
				実績					-